



熊本県茶振興大会が2月7日、熊本市で開かれました。県産茶の品質向上と産地振興を目的に生産者やJA茶商業協同組合、行政など100人が出席しました。

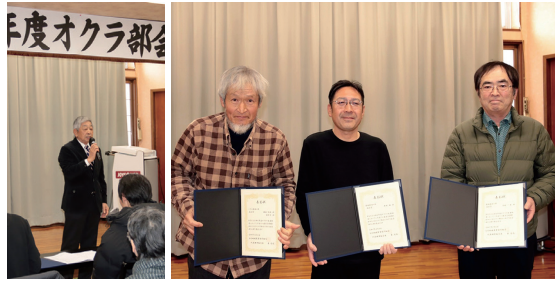
- ❖熊本県茶園品評会入賞
 - 一等賞1位：農林水産大臣賞=中山 秀樹
 - 二等賞2位：九州農政局長賞=福本 勝
 - 三等賞6位=吉良 昌芳
 - 三等賞7位=工藤 隆行

- ❖熊本経済連茶共進会表彰
 - 普通煎茶の部2位 原 英恭
 - 共販賞優良賞 吉良 昌芳
 - 共販功労賞 矢野 章
 - 石山 浩二
 - 吉良 昌芳
 - 鎌田 博昭



南営農センター 酒井俊一郎 R7.2.7

熊本県茶振興大会 品質向上と産地振興を!!
農林水産大臣賞に中山さん



令和6年度は、昨年5月から11月下旬まで出荷。病害虫の夏場の猛暑、台風の到来などが心配されましたが、生産者の努力により高品質出荷を続け、販売高を保つことができました。出荷者34戸がハウス栽培59a、露地栽培189a作付。出荷数量36万1867パック(1パック80グラム・前年対比104%)。販売高3112万562円(同105%)平均単価86円(同106%)でした。小西隆次部会長が「暑さや台風にも負けず、収量も品質も保つことができました。次年度も一致団結していいものを作っていこう」とあいさつしました。役員改選があり、部会長に米村勝さん、副部会長に川中ツヤさん、酒井浩治さんが就任しました。

- ❖10a当たりの出荷量上位者表彰
 - ハウス栽培の部=瀬田俊治・美智子、田中陽一・美也子
 - 露地栽培の部=米村勝▽池田一実



北営農センター 橋口裕幸 R7.2.6

オクラ部会 令和6年度総会・出荷反省会
出荷量、高品質で販売高保つ

鳥獣害対策①

地域みんなで取り組もう 合言葉は『

えづけ
STOP!

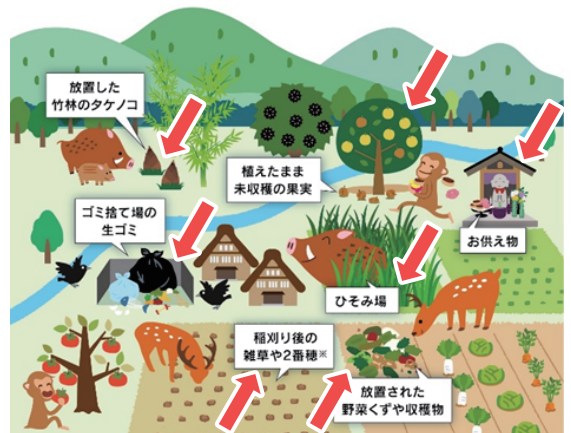
人間による「えづけ」の例

あなたの地域はえづけをしている？

地域の「エサ場」度チェックリスト

- お墓のお供え物・ゴミ捨て場の生ゴミを回収していない。
- 9月以降に草刈りをして、1月から2月にかけて、青草が生い茂っている。
- 収穫しないままの果実(ビワ、スモモ、クリ、カキ、ミカンなど)を放置している。
- 野菜くずや生ゴミなどを田んぼや畑に放置している。
- タケノコを収穫せずに、そのまま放置している。
- 使っていない田畑に、雑草が生い茂っている。
- 見通しの悪い雑木林や竹林がある。
- イノシシなどを見かけても誰も追いかからない。

えづけ度を
チェック!



1つでも該当項目があれば、地域が野生鳥獣などに狙われ、人慣れしやすい「エサ場」や、住みやすい「ひそみ場」になっています。

※2番穂とは稲刈りが済んだ株から出ている稲のこと